

Youth Manna

マルコ1:35
さて、イエスは朝早く、まだ暗いうちに起きて寂しいところに出かけて行き、そこで祈っておられた。

2023/3/27(月)

マルコ12:28-37

28-34vを読もう。
●イエス様は私たちにとって最も大切なことを問われて、2点にまとめて答えられたね。それは何か？

①

②

●神様はきみがどんな状態でも「宝物」だと思ってくれる。きみは自分のことをそんな目で愛しているかな？そのことを黙想して、祈りを下に書いてみよう。

2023/3/28(火)

マルコ12:38-44

●イエス様は律法学者たちのどんな姿を指摘したかな？彼らのように人の目を気にする姿は、僕らの中にもあることだろうか？

●3月2週目の礼拝メッセージを思い出そう！この名もなき女性はどんな心で献げていたのだろうか。神様にどのように依り頼んでいただろうか。この女性の献げる姿から、君が学んだことはどんなことだろうか？

●良い備えをして礼拝に集うために、今週できることを考えて実行しよう！

2023/3/29(水)

マルコ13:1-13

弟子の一人が、ヘロデ大王が建てたとされるエルサレムの神殿を見て、その素晴らしさを褒めた。しかしその神殿では荘厳な宗教儀式が行われていたが、人々の心は神から離れ、商売が行われていた。イエスは神殿が残ることはないと言われ、その40年後、ローマ軍によるエルサレム陥落によってその言葉は成就した。

弟子たちはイエスの言葉に驚いて尋ねると、イエスは世の終わりについて話された。世の終わりには様々な苦しみがあるが、それはイエスの来臨という希望につながっている。だからイエスは、それを「産みの苦しみの始まり」と表現された。

様々な困難のある時代にあって、希望を知っているものとして歩もう！

2023/3/30(木)

マルコ13:14-27

終末のことが述べられている。19v.「それらの日には、神が創造された被造世界のはじめから今に至るまでなかったような、また、今後も決してないような苦難が起こるからです。」

過去や現在を見ても地震や気候変動、パンデミックなど様々な災害で世界は大変になっているが、それらを完全に上回る苦難が起こる、とある。そこで信仰のある者たちは生き残るが、偽キリストたち、偽預言者たちが現れて、選ばれた者たちを惑わそうと、しるしや不思議を行うともある。(19~22v)

信じて終わりではなく、信じ続ける信仰が必要である。これは終末の時に生きていようが前だろうが関係ない。

自身の信仰を見よう！改める必要があるなら本気で求めよう！！

2023/3/31(金)

マルコ13:28-37

●昨日の箇所ではイエス様は、この世が終わる時、そしてご自分が再び来られる時の前兆について教えられたね。その日、その時はいつだと言っているかな？32節を読もう。

●その時をどのように待てば良いのか、イエス様は家の主人の帰りを待つしもべの話で例えたよ。みんなの場合は、自分の親を想像するとわかりやすいかな？主人(もしくは親)に褒められるためにはどのように過ごすのが良いだろうか？

●いつも目を覚ましているとは、毎日の生活の中でイエス様を見続けることでもあるね！眠った信仰生活とならないように、いつも目を覚ましていよう！

2023/4/1(土)

マルコ14:1-11

今日の箇所は前の前の礼拝で、メッセージをしていたところだね！この二週間で神様に感謝を持って何かをささげることができたかな？この女性は油を塗ることが、イエス様が十字架にかけられたあとに香油を塗られなかったことや、この行動がずっと語り続けることは知らなかった。だけどすべてを神様に捧げるとき、神様はそれを私たちが思う以上に用いてくださる！

主の恵みを思い起こしながら、もう一度どのように自分がイエス様にささげられるものは何かかんがえてみよう！

2023/4/2(日)

マルコ14:12-25

イエス様は十二弟子と共に、過越の食事をされ、その席でこれから起ころうとしていることについて語られた。

ユダの裏切りについても、イエス様の思いと共に話されたが、この時のイエス様の思いはどのようなものだったのだろうか。

私たちは自分の思いをイエス様に打ち明けることがたくさんある。しかしイエス様の思いを考えたことはあるだろうか。

「分かち合う」というのは決して一方的なものではないはず。共にあるイエス様の心はどのようなものなのか、静まって聞いてみよう。